

# 「フクシマの怒り」に続こう！ 今こそ原発と核兵器をなくすとき



6・19「怒りのフクシマ大行動」で1510人がデモ

# 8・6 ヒロシマへ!

◆反原発署名 **ただいま  
5628筆**  
(6月28日現在)

## ◆フクシマの怒りはヒロシマの怒り

※爆心地から3kmの地点で被爆。8年後に36歳で死んだ。

わたしをかえせ わたしにつながる  
にんげんをかえせ  
にんげんをかえせ  
にんげんのよのあるかぎり  
くずれぬへいわを へいわをかえせ

ちちをかえせ  
ははをかえせ  
としよりをかえせ  
こどもをかえせ



峠三吉 『原爆詩集』序

「ふるさと返せ」  
「命を返せ」  
「子どもたちの未来を返せ」  
今フクシマで、本当に根底的な、人間としての腹の底からの怒りが爆発している。この怒りは被爆地ヒロシマ・ナガサキと同じだ。「にんげんをかえせ にんげんのよのあるかぎり くずれぬへいわをかえせ」

放射能に殺された被爆者の叫びを繰り返すのは、もう終わりにしよう。人間が人間として生きられる社会をつくらう！

反原発のうねりはとどまることなく広がっている。フクシマ現地で、全国・全世界で爆発している。次は8月6日だ。66年前のこの日、世界で初めて原爆が落とされた。福島県民の命より原発を守ろうとする菅が、ヒロシマに行き、支配者ぶって被爆者の眠る慰霊碑の前に立とうとしている。絶対に許してはならない！

今年のヒロシマは、反戦・反核・反原発の世界大会だ。学生が大挙駆けつけて、世界に向けて呼びかけよう！

## ◆原発は核兵器開発の隠れミノ！

福島原発事故で取り返しのつかない放射能被害を起し、膨大な人々を被曝させておきながら、あくまでも原発にしがみついた菅政権。その目的は一体何なのか。原発は単に発電のための政策ではない。下のコラムにあるとおり本当の目的は日本の核武装だ。

### 日本は核武装をずっと狙ってきた —歴代政府関係者の発言—

- 「核兵器製造の経済的・技術的ポテンシャル（能力）は常に保持するとともに、これに対する掣肘（＝干渉）を受けないよう配慮する」  
(1969年 外務省・外務政策企画委員会の内部資料)
- 「個人としての見解だが、日本の外交力の裏付けとして、核武装の選択の可能性を捨ててしまわない方がいい。そのためにも、プルトニウムの蓄積と、ミサイル転用できるロケット技術は開発しておかなければならない」  
(1992年 外務省幹部の談話) …ほか多数

# 全学連

全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail\_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

「原子力発電は核爆弾をつくる工程の副次的な利用として始まった。その原料と技術は基本的に同じである」(鈴木真奈美『核大国化する日本』)原発も原爆も原理は同じだ。原発は原子炉の中でウラン燃料を核分裂反応させ、そこで出る熱で湯を沸かして発電に利用しているに過ぎない。

その使用済核燃料を再処理工場で化学処理し、核兵器の材料=プルトニウムを取り出すのが本当の目的だ。

さらに使える核兵器にするには、プルトニウムの純度を高める必要がある。そのための手段が高速増殖炉「もんじゅ」だ。「もんじゅ」はプルトニウムを核兵器に最適な98%の高純度にできるのだ。

つまり日本は戦後一貫して原発を隠れミノに、核開発を進めてきたということだ。「平和国家」も「非核三原則」も全部ウソだったのだ。だからこそ今年、反原発の思いを8・6ヒロシマで爆発させることが決定的にもとめられている。「原発は核の平和利用」—こんなペテンで被爆者の叫びを踏みにじってきたこの国の政府を1秒たりとも認めてはいけない。そしてこの欺瞞をうちやぶった時、歴史を変えることができる!

## ◆文部科学省と大学こそ 核政策の担い手

今一つ重大なことは、日本の核政策の最大の担い手は、文部科学省(以下、文科省)・大学だということだ。国の原子力予算の6割が文科省に流れ込んでいる。プルトニウムをつくるための「もんじゅ」を担当しているのも、また核

弾頭を載せれば核兵器になるH2Aロケットをつくっているのも文科省だ。要するに核開発の張本人だ。

文科省も御用学者も、頭の中は核政策を守りぬくことだけだ。原発事故を受け、高木文科相は福島の子どもの「放射能安全基準値」を緩和した。御用学者山下俊一(長崎大教授)はその手先となって、放射線リスク管理アドバイザーに就任し、福島県内で「放射能の安全だ」と大ウソをついて回っている。

これが教育なのか! 学問なのか! フクシマの怒りとともに、キャンパスから立ち上がろう!

## ◆キャンパスから立ち上がれば 原発も核もなくせる!

だからこそ学生の勇気と行動が決定的だ。事故から3ヶ月、街頭デモはドンドン拡大し、6・11について100万人のデモとして爆発した! 多くの学生・青年が立ち上がったこの反原発のうねりは、キャンパスで爆発する段階に入っている。三重大学では教授会が中部電力の寄付講座を否決し、大学から原発を阻止していく闘いが始まった。福島大学では、准教授が連名で山下俊一・長崎大教授をアドバイザーから解任せよという意見書が叩きつけられ、フクシマでは山下解任署名が広がっている。追いつめられているのは菅政権であり、文科省であり、原発を推進してきた大学当局だ。

原発も核もなくすことは出来る! 反原発のうねりをキャンパスから巻き起こし、8・6ヒロシマへ! とともに行動しよう。



被曝66周年 ヒロシマ・ナガサキ・フクシマを繰り返すな!

すべての核と原発をなくせ! 戦争とめよう

## 8・6ヒロシマ大行動

日時: 8月6日(土)

場所: 広島県立総合体育館

主催: 8・6ヒロシマ大行動実行委員会

→<http://hiroshima100.net/daikoudou>

参加されたい方、興味がある方は連絡ください!

◆倉岡雅美(人環3)

090-3442-7829 masamin-c@ezweb.ne.jp

